

# 平成21年3月期第1四半期（連結）の概況

## 経営成績

我が国経済は、エネルギー・原材料をはじめ、あらゆる資源価格が高騰している影響から、これまで高水準で推移してきた企業収益が悪化に転じるなど、景気は減速を続けております。一方、海外においては、米国は景気の停滞が続いている他、EUの景気も緩やかに減速しておりますが、中国など新興国は総じて高成長を維持しております。但し、資源価格の高騰が、世界経済に今後更なる悪影響を及ぼすことが懸念されます。

このような経済環境のもと、当第1四半期の連結業績は、鉄鋼や建設機械関連事業で堅調な需要が継続したことなどから、売上高は前年同期に比べ652億円増収の5,430億円となりました。営業利益は、鉄鋼をはじめ各事業におけるコストアップに対応し、従来以上のコストダウンと販売価格の改善に取り組んだことに加えまして、原材料価格の上昇に伴う在庫評価益が発生したことから、前年同期に比べ51億円増益の452億円となりました。また、経常利益は前年同期に比べ50億円増益の426億円、四半期純利益は前年同期に比べ22億円増益の252億円となりました。





※矢印は対前年同四半期比

## 事業別売上高情報

セグメント別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社「株主・投資家の皆様へ」サイト掲載の平成21年3月期第1四半期決算短信をご覧ください。



※矢印は対前年同四半期比